

有意義な夏やすみにしましょう

梅雨が明け、本格的な夏になりました。今年の夏も記録的な暑さとなることが予想されますので、健康に十分気をつけて過ごしてください。パリ・オリンピック、パラリンピックをはじめ、多くの興味深いイベントがあったり、家族などで楽しみな計画もあるでしょう。8月は、8.6ヒロシマ原爆の日、8.8福山空襲の日、8.9ナガサキ原爆の日、8.15終戦の日と、戦争と平和に関する意味深い日が続きます。ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナの戦闘も含めて家庭などで戦争や平和について会話をしてみましょう。進路に関しては、各高校のオープンスクールが予定されていて参加する人も多いと思います。実際の施設や学校の様子をしっかりと見てきてください。そして、9月はじめには、実力テストがあります。学びの多い充実した夏やすみにしてください。



「吾十有五にして学に志す」

先月号で教育実習生が「将来の選択肢を広げるために勉強するのではないかな…、あのとき勉強しておけばよかったと後悔しなくてすむよう、がんばってください」というメッセージをくれました。これに関連して、孔子の「論語」にある言葉を紹介します。



「子曰(しいわ)く、吾十有五(われじゅうゆうご)にして学に志(こころざ)す。三十にして立つ。四十にして惑(まど)わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順(みみしたが)う。七十にして心の欲(ほっ)する所に従えども、矩(のり)を踰(こ)えず。」

【解説】

孔子は言いました。

- 私は、十五歳になったとき学問(学者)の道に進もうと思い、本気で自分から勉強をはじめた。
- 三十歳までは、師のまねをしたり人に教わったりしたが、三十歳からは自分のやり方や自分の見識、自分の思想をもつようになり、自分が精神的に自立したと感じるようになった。
- 若いころ、自分は何でもできると思っていて、あれやこれやとやってみたいことがあるが、迷うことがあったが、四十歳を過ぎるころ、自分に向いていないことや自分にできそうにないことを消去していき、残ったものが、本当に自分のやるべきことではないかと思いはじめた。そして、心の惑いもなくなってきた。
- 五十歳になったころ、自分がやっていることは、天から与えられた使命ではないかと思うようになった。
- 六十歳になるとそれまで人の話を疑って聞いたり、反論することがあったのに、誰から話を聞いても、まずは耳に聞こえてきたことをすなおに受け止め、その是非(良いことか悪いことか、適切か不適切か、賛成か反対か)を判断することができるようになった。
- 七十歳をこえると、心に思ったことを口に出してしまっって人を傷つけるようなこともなくなり、自分の思ったままに行動しても人の道から外れることはなくなった。

※孔子(こうし)＝紀元前552-479年、中国春秋時代の思想家・哲学者。儒教の始祖。釈迦、キリスト、ソクラテスと並ぶ「四聖人」に数えられている。

※儒教＝五常(仁・義・礼・智・信)について説いた教え。

※論語＝孔子の教えを弟子たちがまとめたもの。人の在り方、道徳観、生きていくうえでの規範が記されている。

10年後、あるいはその先、自分はだれと関わり、何に困り、何によるこんで笑っているだろうか。さらにその先も生きていく自分のために今できることはなんだろうか。

～ 9月 行事予定 ～

- 2日(火) 始業式、
実力テスト5教科
- 26日(木) 参観日
(進路説明会・私立)

